

言いかえてみよう！慣用句プリント⑤

自分で書いた文を慣用句で書きなおそう

なまえ _____

ひづけ _____

1 慣用句を、ふつうの言い方に書きかえよう

ヒントの言葉は ありません

(1) ぼくの父は 顔が広い。

(2) 弟は兄の注意に 耳を貸さない。

(3) 生まれたばかりの妹は 手がかかる。

(4) 先生は 新入生に 目をかけて いる。

(5) かぜを ひいた 母に、父は 気を配って いる。

2 自分の文を、慣用句で書きなおそう

- ① あ・い・う の おだいで、箱の ことばの 意味に 合う ことを、慣用句を 使わないで ①に 書く（短い 文で よい）
 - ② ①と 同じ 意味に なる ように、箱の 慣用句を 使って ②に 書きなおす
 - ③ ②が できたら、見なおして □に 印を つける
- れい ① お客様の 前で、おとなしい ふりを した。 → ② お客様の 前で、猫をかぶった。

あ 学校で あった ことを 書こう

① _____

② _____

見なおし □ ①と 同じ 意味 □ 箱の 慣用句を 使った □ 字の とおりの 意味じゃない

い 友だちと あそんだ ことを 書こう

① _____

② _____

見なおし □ ①と 同じ 意味 □ 箱の 慣用句を 使った □ 字の とおりの 意味じゃない

う 家の 手つだいを した ことを 書こう

① _____

② _____

見なおし □ ①と 同じ 意味 □ 箱の 慣用句を 使った □ 字の とおりの 意味じゃない

ことばの 箱（意味つき）

骨が折れる＝たいへんで 苦労する

頭を抱える＝どう すれば よいか わからず こまる

鳥肌が立つ＝感動して ぞくっと する

手を尽くす＝できる かぎりの ことを する

顔から火が出る＝はずかしくて 顔が まっかになる

腕が鳴る＝自分の 力を 見せたくて うずうずする

心を打つ＝感動させて 心に のこる

気が引ける＝もうしわけなくて 気おくれする



言いかえてみよう！慣用句プリント⑤【こたえ】

自分で書いた文を慣用句で書きなおそう

なまえ _____

ひづけ _____

1 慣用句を、ふつうの言い方に書きかえよう

ヒントの言葉は ありません

(1) ぼくの父は 顔が広い。

ぼくの父は 知り合いが多い。

多くの人と知り合いだ

(2) 弟は兄の注意に 耳を貸さない。

弟は兄の注意を聞き入れない。

人の意見をしっかり聞く

(3) 生まれたばかりの妹は 手がかかる。

生まれたばかりの妹は世話に時間がかかる。

世話に手間や時間がかかる

(4) 先生は 新入生に 目をかけて いる。

先生は新入生を気にかけてかわいがっている。

気にかけてかわいがる

(5) かぜをひいた母に、父は 気を配って いる。

かぜをひいた母に、父はこまかいところまで注意している。

こまかいところまで注意する

2 自分の文を、慣用句で書きなおそう

① あ・い・うのおだいで、箱のことはの意味に合うことを、慣用句を使わないで①に書く（短い文でよい）

② ①と同じ意味になるように、箱の慣用句を使って②に書きなおす

③ ②ができたなら、見なおして□に印をつける

れい ① お客さんの前で、おとなしいふりをした。 → ② お客さんの前で、猫をかぶった。

あ 学校であったことを書こう

① きょう、しゅくだいをわすれて、とてもはずかしかった。

② きょう、しゅくだいをわすれて、顔から火が出た。

顔から火が出る＝はずかしくて顔がまっかになる

見なおし □ ①と同じ意味 □ 箱の慣用句を使った □ 字のと通りの意味じゃない

い 友だちとあそんだことを書こう

① かくれんぼで友だちが見つからず、とてもこまった。

② かくれんぼで友だちが見つからず、頭を抱えた。

頭を抱える＝どうすればよいかわからずこまる

見なおし □ ①と同じ意味 □ 箱の慣用句を使った □ 字のと通りの意味じゃない

う 家の手つだいをしたことを書こう

① タゴはんのあとかたづけは、とてもたいへんだった。

② タゴはんのあとかたづけは、骨が折れた。

骨が折れる＝たいへんで苦勞する

見なおし □ ①と同じ意味 □ 箱の慣用句を使った □ 字のと通りの意味じゃない

○のつけ方

①②は 一れいです。①は ふつうの言い方、②は 箱の慣用句で①と同じ意味になっていれば○。

□ ①と同じ意味になっている □ 箱の慣用句を使っている □ 字のと通りの意味じゃない